

平成26年1月 定例会議

平成25年度

第10回 みどり市 定例教育委員会会議録

平成26年1月16日

みどり市教育委員会

平成25年度 第10回 みどり市定例教育委員会会議録

- ・招集日時 : 平成26年1月16日(木) 午後3時00分から
- ・招集場所 : みどり市役所教育庁舎3階第2会議室
- ・出席委員 : 1番委員 丹羽 千津子
2番委員 松崎 靖
3番委員 山同 善子
4番委員 金子 祐次郎
5番委員 尾崎 享子
- ・説明のため出席した者 : 教育部長 松井 篤
教育総務課長 田村 栄助
学校教育課長 保志 守
学校計画課長 小林 幹児
社会教育課長 若月 省吾
文化財課長 石原 亨夫
富弘美術館事務長 星野 和弘
- ・本委員会書記 : 教育総務課総務係 根岸 美佳
- ・事務局職員出席者 : 教育総務課総務係 石井 宣行

議事日程

- ・日程第1 : 会議録署名委員の指名
- ・日程第2 : 会期の決定
- ・日程第3 : 報告第1 教育長報告について
- ・日程第4 : 議案第29号 みどり市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- ・日程第5 : 議案第30号 平成25年度芸術・文化・体育等功績被表彰者の決定について

・開会：午後4時27分

(委員長) ただいまから平成25年度第10回みどり市定例教育委員会会議を開会いたします。

 年初初めての委員会ですので、各委員の方からあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(委員長) 事務事業評価委員の方の評価を見た中で、情報発信という言葉が何カ所か出てきました。これまで意識していなかったもので、情報発信が出来ていたのかなと思い、今年は情報発信ということを自分の中ではキーワードにして行きたいと思います。こちらがオープンでないと外からの情報も入ってこないと思うので、あまり箱入り教育委員ではなく、いろいろなところに出て行けるような機会を増やせたらと思います。今日まさに市P連の方達と懇談会があるので、そういった場も教育委員会を皆さんに知っていただくための情報発信になるのではないかなと思います。他の団体とも意見交換が出来たり、少しずつ出していければ反対に相手からの情報も入ってくるのではないかなと考えまして、今年は情報発信ということを頭の隅に置きながらやっていきたいと思いました。

(松崎委員) 先月、丹羽委員長が上毛新聞で書いていた記事がとても良い内容だと思いました。例えば説明責任であったり告知するという中で、評価委員の方の説明では、情報を盛り込みすぎないことや絞って重要なことだけを伝える。そういう意味では、丹羽委員長が書いていた小学校の分離にしても140年という笠懸小学校の歴史の中で、いろいろ笠懸東小学校の分離や笠懸北小学校の分離、そういう歴史の中で今があってまた新たに分離を考えているという。こういう歴史があって未来に向かって行くのです。というように内容のことを書かれていたのですが、記事を読んだ人たちは、きっとそういう形で分離であったり適正化というのが必要なのだということを感じてくれると思います。そういう意味では、メディアを通じて今朝の上毛新聞にみどり市長の記事が端的に4つ、子育て、安心安全、観光振興、

新エネルギーについて載っていましたが、幾つかに絞って分かりやすく外部に説明していくことが必要だと思います。今年は評価委員の方が指摘してくれたものをきちっとした形にしていくということが大事だと感じました。

(山同委員) 今年の初めの出来事で、話をしようと思いました。以前、家のガソリンスタンドで、アルバイトをしていた高校生の話なのですが、スタンドでアルバイトをしてくださる方の中には、勤労学生もいるのですが、今日お話しする高校生は自分の小遣い稼ぎをする高校生のお話です。もともと親御さんが家のお客様で、頼まれて雇うことになりました。家族は年の離れた小さい兄弟がいて、父親は一人親方の大工をしているご家庭でした。高校を卒業して就職もせずに父親の見習いをするということで卒業後もよく家へアルバイトに来ていました。何年も経たないうちだったと思いますが、大工の見習いを辞めてしまい、家を出て一人暮らしを始め、しばらくしてガソリンスタンドのアルバイトも辞めてしまいましたが、相変わらず家のお店に遊びに来てスタッフルームで従業員と話をしているところを良く見受けました。スタッフルームに来て何が楽しいのか。将来の展望も見えない様子でしたし、行き当たりばったりの生活をしている様な感じだったので、親の目線でしか見られない私は、彼の先のことが心配でした。ところが今から3年ほど前だったと思いますが、その子の父親が病気で急死してしまいました。もちろん商売はたたむしか無いはずですが、兄弟はまだ小学生もいるはずなので、一家の大黒柱を失いお母さんは経済的にも随分大変ではないかと想像しました。話を聞くと息子が父親の後を継いでくれることになったとのことでした。その言葉を聞いてホッとした反面、嫌で辞めた仕事を長く続けることが、続けられると良いがという不安も過ぎりました。それきり私はその子のことを気に掛けなくなりました。そして今年の仕事始めの日ガソリンスタンドで給油しているトラックを見ると荷台に重機を乗せて運転席にその子が座っていました。「今回は投げ出さなかったの

だな」彼もたくさんの困難に直面したはずですが、後で従業員に聞いてみると彼はもう28歳になったそうです。「もう一人前の大人ですよ。今では家の大事なお客様ですよ」と話してくれました。新年早々こんな場面に出くわせてとてもうれしい気持ちになりました。今思うと時々遊びに来ていたたばこ臭いスタッフルームが彼にとっては気持ちを楽に出来る場所だったのかなというふうに改めて思いました。昨年の7月みどり市内の中学生が命を落としてしまいました。実はこの子は、家の子どもと幼稚園、小学校時代の同級生で、小さい頃は良く遊びに来ていました。この子は複雑な家庭事情もありましたが、まじめで志もある子でしたし、いじめられるタイプでもなく話をする友達もいました。まさか命を落とすとは想像できませんでした。この子には、大工になった彼のようにホッとする場所があったのだろうか。もし彼が小学校の時のように、もし家に遊びに来てくれたなら、「もうちょっとの辛抱だよ。後ちょっとで大人になれば自由なのだから」とそっと耳打ちして上げたかったなと思いました。今、知人の子どもに不登校がいます。もちろん親は大いに悩んでいます。親の立場に立てば何とか早く解決してあげたいという思いです。我が子のこととなると客観的に見ることは難しくついいらぬ心配をし、一番大切な我が子に余計なことを言ってしまいがちです。これは私にも言えることです。親はおおらかな気持ちで子どもを見守ってやるのがなかなか出来ません。子どもの言葉を借りて言うなら親はうざいのです。そして時には気持ちを追い詰めてしまうこともあります。不登校になったこの子どももいじめられている訳でも無いようですし、友達もいます。そう考えると子どもはみんな多少なりとも自分で気づかず悩んでいます。毎日平坦な道を歩いている訳では無いのだなと感じます。すべてを排除する必要は無いと思います。たくさん感じ取って経験する方が、たくましい大人に成れるはずです。時には傷ついて落ち込んで、けれどこんな子ども達の心のよりどころが、ゲームセンターやコンビニの駐車場では残念で仕方がありません。そこで以前お話し

せていただいたことですが、学校や家庭を往復する中で、ちょっと立ち寄って気持ちを落ち着けたり、整理したり勉強したりするようなちょっとした立ち寄り場所、サロンのようなものがあると良いと感じました。実は私個人で始めても良いかなといろいろ考えているのですが、なかなか子どものケアという部分で難しい分野だと感じています。大がかりなもので無くても良いと思います。大人や大学生など地域のいろいろな力を借りて社会で子どもを見守ることが出来る仕組みが欲しいというふうに感じた年の初めでした。

(金子委員) 成人式に参加して私は、成人式というのは自分が成人した時には行ったことがあるのですが、その後成人式を第三者の目で見たとというのは初めてで、とても新鮮な印象で見ることが出来ました。特に新成人が自ら司会進行をするという形は初めてで、成人したということの一つの確認にもなるかなというふうに見てきました。その式で気づいたことは、国歌斉唱の後、みどり市の歌の斉唱があったのですが、実は私聞いたことが無かったのですが、一緒には歌ってはいましたが、帰ってからみどり市の歌とインターネットで調べてみました。そしたら23年3月に出来た歌ということで、まだ出来て新しい歌だったとそんなに時間も経っていない歌だということで、私が知らなかったのも一つはそのこともあったというふうに思っていたのですけれども、おそらく会場に来ていた新成人も知らない人が多かったのかな、少しざわつきましたので、あれはきっと「私知らないわ」とそういう現れだったように思いました。せっかく作ったみどり市の歌なので、なるべく触れる機会が多くあると良いと思ひまして、例えば東町ですと防災無線だとか或いは桐生FMみたいな放送で身近に流れてくると浸透するし、ふるさとへの愛着だとかそういうものを高めていくために、歌というのは非常に効果がありますので、ぜひそういう機会をどこかで作っていいと良いと感じました。ただ自分が歌ってみてちょっと歌いづらいという印象がありましたし、歌い込んでくるとまた、違うでしょうけどもそんな

成人式を経験させていただきました。

(教育長) 協議会の方でいろいろな来年度の方針等を説明させていただきました。

ハードの面で考えますと太陽光の発電をするという目玉のことがありますけれども、人・文化のことを考えればソフトの面のところかなと思います。

年始めの校長会では、4つ私はみどり市ならではのものがあると思いますと話をしました。1つ目は富弘美術館であり岩宿博物館であり地元にあるものを有効に教育委員会としても展開しているもの、これを大切にしていきたいということ。2つ目は、学力の向上こそ学校としての大事な使命であります。月末あたりからみどり市の学力検査が始まります。全国の学力検査とは違って全員が結構教科の数も多いですし、毎年毎年みどり市はきちっとやっていますから、そういうところも活用しようという学力向上の話をしました。3つ目は家庭で子どもにしっかり向き合って生活をきちんと維持することが、子どもを育てる上で或いは、学力向上する上で、大切だってことは何回も何回も言われているじゃないか。家庭教育について学校も大事な場としてしっかり見ていきたいですねと話しました。4つ目としては、いじめの問題は無くならないということ、嫌がらせをする友達を仲間はずれにするというのは、なかなか無くならない。どんな些細なことでも早めに対応して丁寧に丁寧に何回も繰り返して対応していきましょうという話をしました。次に、いじめの時もみどり市は、学校教育課だけでやるのではなく、社会教育課も一緒になってやりますよという話をしました。今回は子どもの学力向上には学校教育課だけではなく社会教育課も関わりたいということで、子どもの学びを支援するという事業を3つの公民館をベースにまずは昨年もやりました夏休み中ボランティアの人たち、昨年は市教委の指導主事がやってくれましたけど今回はボランティアを市民に募ってまずは長い夏休みの中から市民みんなで子どものいじめも見逃さない。学力向上も地域でお互いの持っているものを出し合って育てていこうというような形で事業を立ち上げようと考えています。また、

教育委員会の運営のことにつきますと外部の方に評価を頂いたのは大変刺激的で評価をされるということはこんなにこちらとしての覚悟が必要なものであったということを強く感じています。24年度の評価を頂いてそれを25年度にどうしたかということになりますから教育委員会としてもワーキンググループを立ち上げて真剣に考えていますので、2月3月の協議会の方になると思いますけれども、こんなふうに見直したいというような提案を出して検討を重ねていきたいと思っております。

・日程第1 会議録署名委員の指名

(委員長) 日程第1、会議録の署名委員の指名をさせていただきます。これにつきましては、席番2番の松崎靖委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

・日程第2 会期の決定

(委員長) 日程第2の会期の決定ですけれども、平成26年1月16日（木）本日1日ということで、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

(委員長) 異議なしの声がありましたので、本日1日と決定させていただきます。

・日程第3 報告第1 教育長報告について

(委員長) 日程第3、報告第1 教育長報告について、尾崎教育長の方からお願いいたします。

(教育長) (内容：説明資料)

(委員長) ただいまの教育長の報告について、何かご質疑がございますか。

(委員長) ご質疑がないようでしたら、日程第3、教育長報告は以上で終了いたします。

・日程第4 議案第29号 みどり市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(委員長) 日程第4、議案第29号 みどり市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、を上程いたします。事務局より提案朗読をお願いいたします。

(事務局) 議案朗読

(委員長) 事務局の朗読が終わりましたので、田村教育総務課長より内容説明をお願いいたします。

(教育総務課長) (内容：説明資料)

(委員長) 田村課長の説明が終了しましたので、ただいまの説明に対し、何かご質疑がございますか。

(委員長) P10むすびのところ、評価委員の方からの意見が反映されている部分が付け加えられている訳ですね。

(教育長) 先ほど情報発信の話が出ましたね。情報発信という文言を付け加える必要がありますか。

(松崎委員) 情報発信の仕方とかを盛り込んでいくというのなかなか、難しい部分ではあるかも知れないのですが、ただメディアを通して、例えば先ほど話したような委員長が新聞に記事を掲載して共感を得るとか、理解して頂くとか、ことあるごとに発信していくということは大事なことで、それは受けることも大事なことです、積極的にメディアを利用していくという、理解をして頂くという意味合いでは、必要なことだと思います。

(委員長) 今回のむすびにこの部分に積極的な情報発信という文言を加える方がいいのでしょうか。それともそれをしっかりと受け止めて来年度からそのことについて、また検討していくということでもよろしいのでしょうか。

(松崎委員) 盛り込むというよりは、実際にやっていくことの方が大事な訳ですからね。

(委員長) しっかりと受け止めて次年度に出すということで、今回はその言葉を盛

り込まなくてもよろしいでしょうか。

(松崎委員) 内容は良いと思いますけど、むすびにこのところで最後の方で「思います」という言葉が続いているのが気になりました。

(田村課長) 言い切る様な形で直させていただきます。

(金子委員) 表題のところが平成25年度と平成24年度書かれているところがあるので統一した方が良いのではないのでしょうか。

(教育長) これは25年度で25年度の予算の数字も入れてますから何の違和感もないと思います。非常に分かりにくいので、表紙のところに25年度と書きつつ(24年度事業対象)と書いたところがあります。先ほど言いました点検シートはそういうことで、却って中途半端に24年度を入れてしまいますと21年度から遡って数字を入れているところもありますから、これを作成したのは25年度ですよ。ということで、ダイジェスト版も25年度に合わせてしまった方が間違いないということでしょうか。正直毎年この形式で出しているものですから、急に年度を変えると全部の関係がこれは違うのではないかという話になってしまうものですから、そこら辺が間違えがないように申し訳ありませんが、こちらで検討させていただきます。

(金子委員) 誤解の無いようにしておけば、良いと思います。

(委員長) 他にご質疑がないようでしたら、質疑を打ち切りお諮りいたします。日程第4、議案第29号 みどり市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、本案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

賛成委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

(委員長) 挙手全員ですので、本案は原案のとおり決定することといたします。

・日程第5 議案第30号 平成25年度芸術・文化・体育等功績被表彰者の決定について

(委員長) 日程第5、議案第30号 平成25年度芸術・文化・体育等功績被表彰者の決定について、を上程いたします。事務局より提案朗読をお願いいたします。

(事務局) 議案朗読

(委員長) 事務局の朗読が終わりましたので、田村教育総務課長より内容説明をお願いいたします。

(教育総務課長) (内容：説明資料)

(委員長) 田村課長の説明が終了しましたので、ただいまの説明に対し、何かご質疑がございますか。

(委員長) 今回は芸術・文化の該当の方はいなかったのですね。教育委員会の方でも推薦基準ですとか何かそういったもので、把握したりしているのですか。どこかで表彰されるとか。

(田村課長) こちらの各団体等からの推薦また、学校からの推薦という形で上がってきています。

(委員長) 学校からの推薦が無かったということですね。

(田村課長) はい。

(委員長) 他にご質疑がないようでしたら、質疑を打ち切りお諮りいたします。日程第5、議案第30号 平成25年度芸術・文化・体育等功績被表彰者の決定について、本案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。賛成委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

(委員長) 挙手全員ですので、本案は原案のとおり決定することといたします。

(委員長) 以上をもちまして、本日の教育委員会議の議事をすべて終了いたします。ご苦労様でした。

・閉会：午後5時27分

・本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議事日程

- ・日程第3 : 報告第1 教育長報告について (報告)
- ・日程第4 : 議案第29号 みどり市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (可決)
- ・日程第5 : 議案第30号 平成25年度芸術・文化・体育等功績被表彰者の決定について (可決)

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

平成26年1月16日

みどり市教育委員会委員長

印

会議録署名人 番委員

印

会議録作成者 書記

印